

2017年9月期 第3四半期 決算補足資料

シミックホールディングス株式会社
2017年7月28日

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2017年6月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) シミックファーマサイエンス(株) シミックキャリア(株) CMIC, INC. CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd.
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	サイトサポート・インスティテュート(株) シミックヘルスケア(株) CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPM事業	革新的な手法で患者や製薬企業にソリューションを提供するプラットフォーム型事業。現在は、主に診断薬やオーファンドラッグ等の開発、販売を手がけている	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

- 2016年10月1日付で(株)シミックBSは商号をシミックキャリア(株)に変更し、セグメントをCSO事業からCRO事業に変更いたしました。
- 2016年10月1日付でCMO事業はCDMO事業に、IPD事業をIPM事業に、セグメント名称を変更いたしました。
- 2017年4月1日付で(株)ヘルスクリックは商号をシミックヘルスケア(株)に変更いたしました。

Project Phoenix

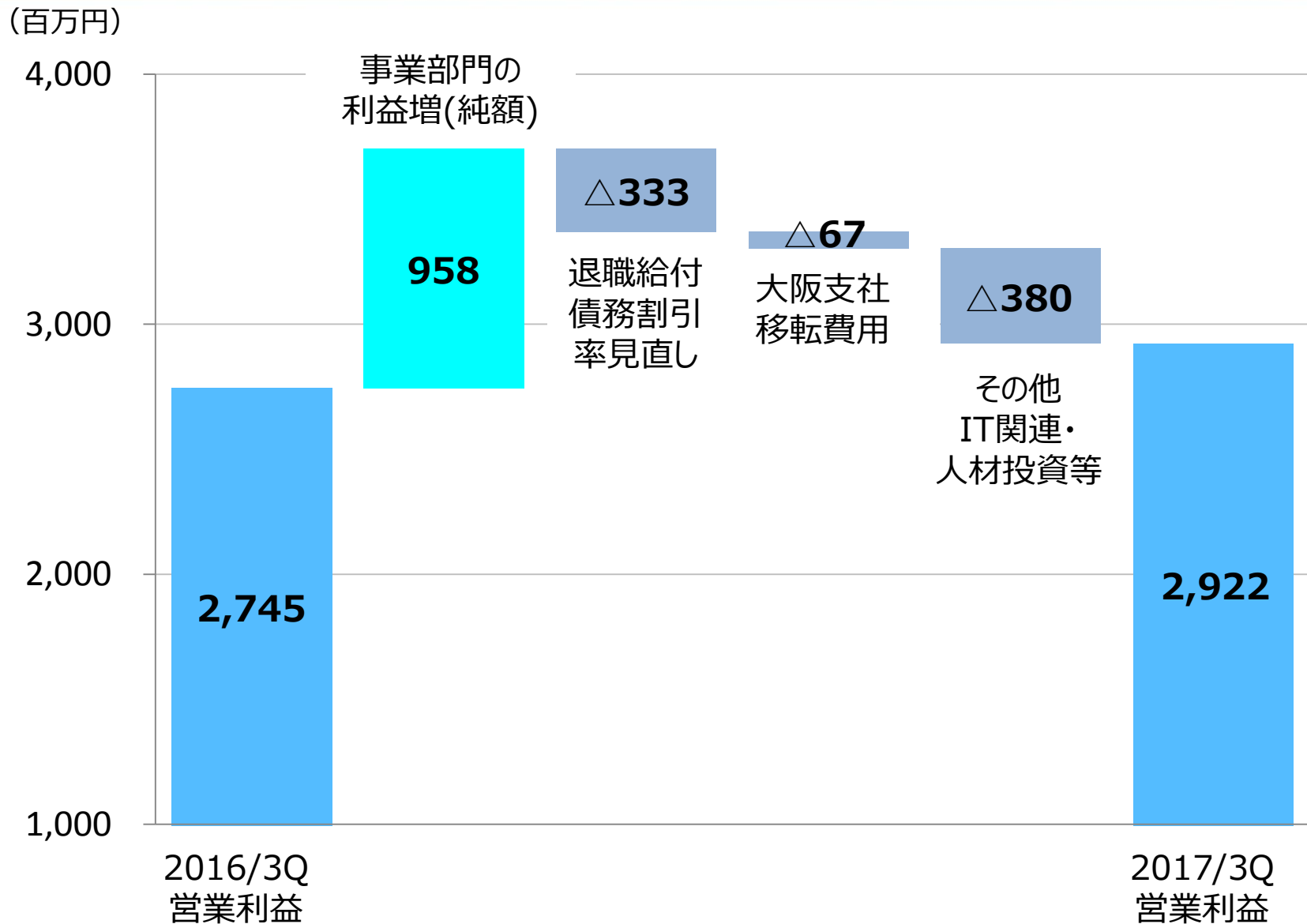
~創業25周年。医療・製薬産業の変革にスピーディに対応するために~

- ✓ CRO事業
 - ✓ 臨床業務の大型案件受注
 - ✓ Fosun Pharmaグループと、中国蘇州市にジェネリック医薬品承認取得支援を行う合併会社設立を合意
- ✓ CDMO事業 製剤開発力をはじめとする技術力の強化を図る
- ✓ ヘルスケア事業 SMO業務の大幅な業績回復
- ✓ IPM事業 オーフアンパシフィック ジアゾキシドカプセル「MSD」販売開始

連結損益計算書（要約）

	2016/3Q		2017/3Q		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	46,236	100.0	47,978	100.0	1,742
営業利益	2,745	5.9	2,922	6.1	176
経常利益	2,440	5.3	2,855	6.0	415
親会社株主に帰属 する四半期純利益	866	1.9	1,025	2.1	159
1株当たり 四半期純利益	46円33銭		54円82銭		

営業利益の前年同期比 増減要因



営業外損益・特別損益等の内訳

			(百万円)		
	2016/3Q	2017/3Q	2016/3Q	2017/3Q	
営業外収益内訳	111	160	特別損失内訳	153	448
為替差益	-	95	貸倒引当金繰入額※	-	321
受取利息	25	14	固定資産売却損	1	27
受取補償金	21	-	固定資産除却損	37	99
その他	64	51	減損損失	11	-
			支払補償金	103	-
			※ベトナム事業に関する貸倒引当金を計上しております		
営業外費用内訳	417	227	税金費用	1,267	1,249
支払利息	112	92	法人税等	844	897
持分法投資損失	54	81	法人税等調整額	422	351
為替差損	196	-			
その他	54	53			

セグメント別売上高および営業利益

		2016/3Q 金額 (百万円)	2017/3Q 金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	23,284	24,838	1,553	6.7
	営業利益	3,816	4,280	464	12.2
CDMO事業	売上高	10,663	10,226	△436	△4.1
	営業利益	334	△25	△359	-
C S O 事業	売上高	5,581	5,230	△350	△6.3
	営業利益	443	396	△47	△10.7
ヘルスケア事業	売上高	5,153	5,915	762	14.8
	営業利益	107	944	837	782.8
I P M 事業	売上高	1,881	1,972	91	4.9
	営業利益	△109	△343	△234	-
調 整 額	売上高	△327	△203	123	-
	営業利益	△1,845	△2,329	△483	-
合 計	売上高	46,236	47,978	1,742	3.8
	営業利益	2,745	2,922	176	6.4

受注高・受注残高

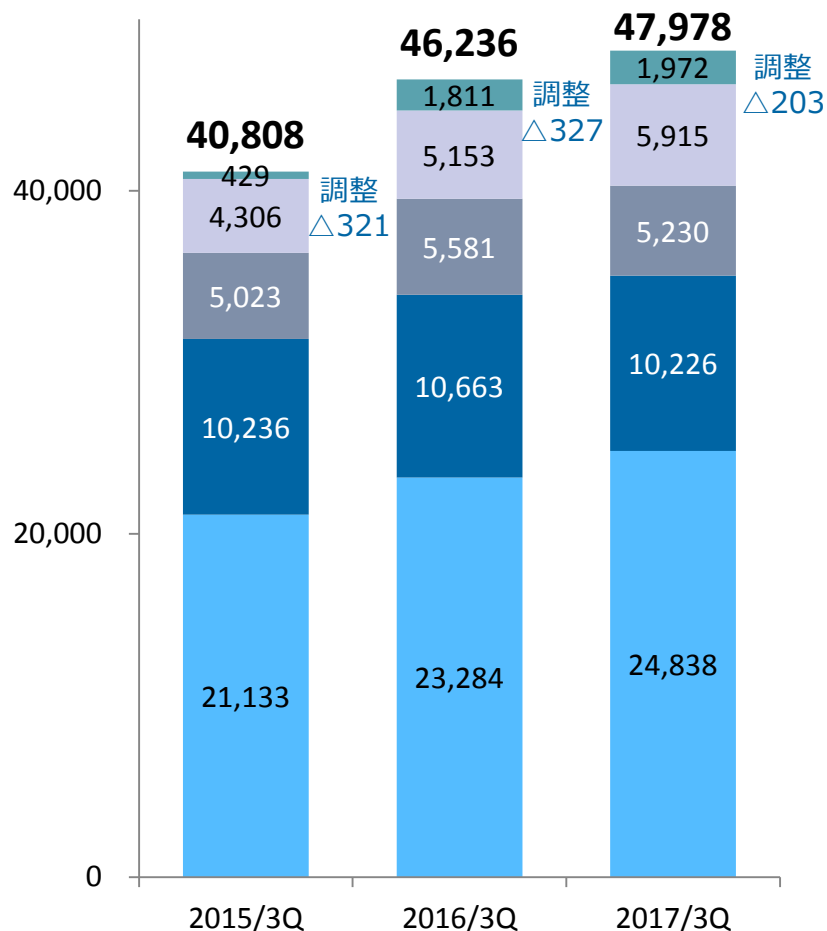
	2016/3Q		2017/3Q			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	24,833	44,636	34,358	38.4	55,190	23.6
CDMO事業	10,845	3,467	10,939	0.9	4,084	17.8
C S O 事業	2,979	4,529	2,735	△8.2	3,099	△31.6
ヘルスケア事業	5,605	9,404	4,933	△12.0	8,545	△9.1
合 計	44,263	62,039	52,966	19.7	70,920	14.3

- ・CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- ・IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注情報から除外している。

連結売上高および営業利益の推移

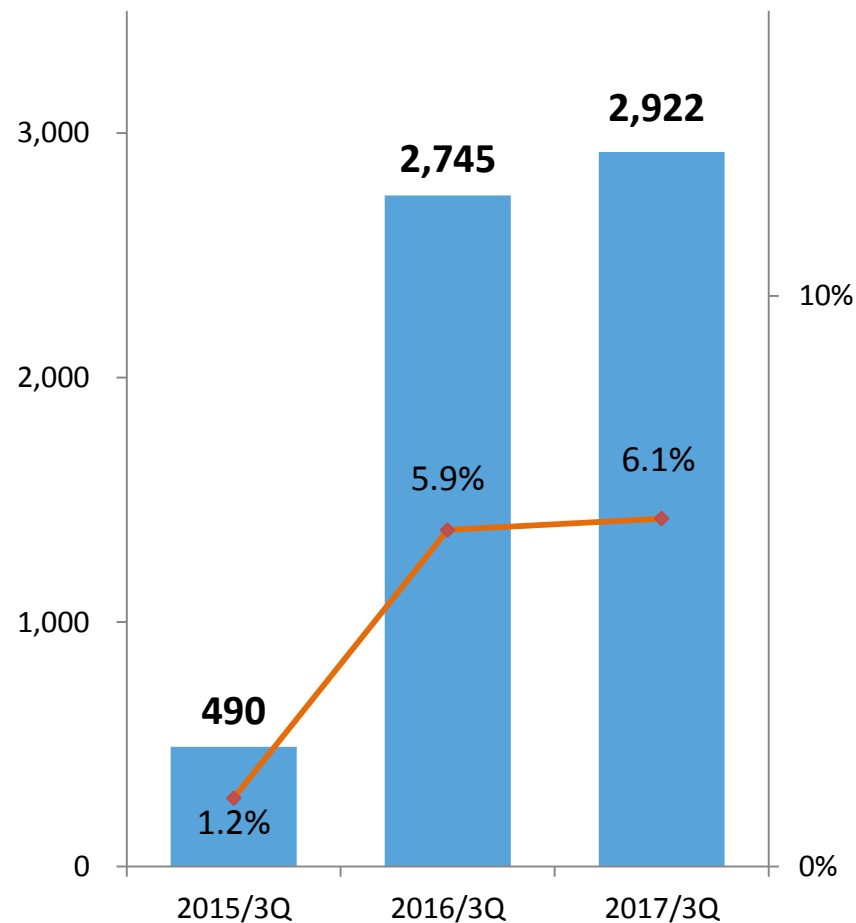
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)

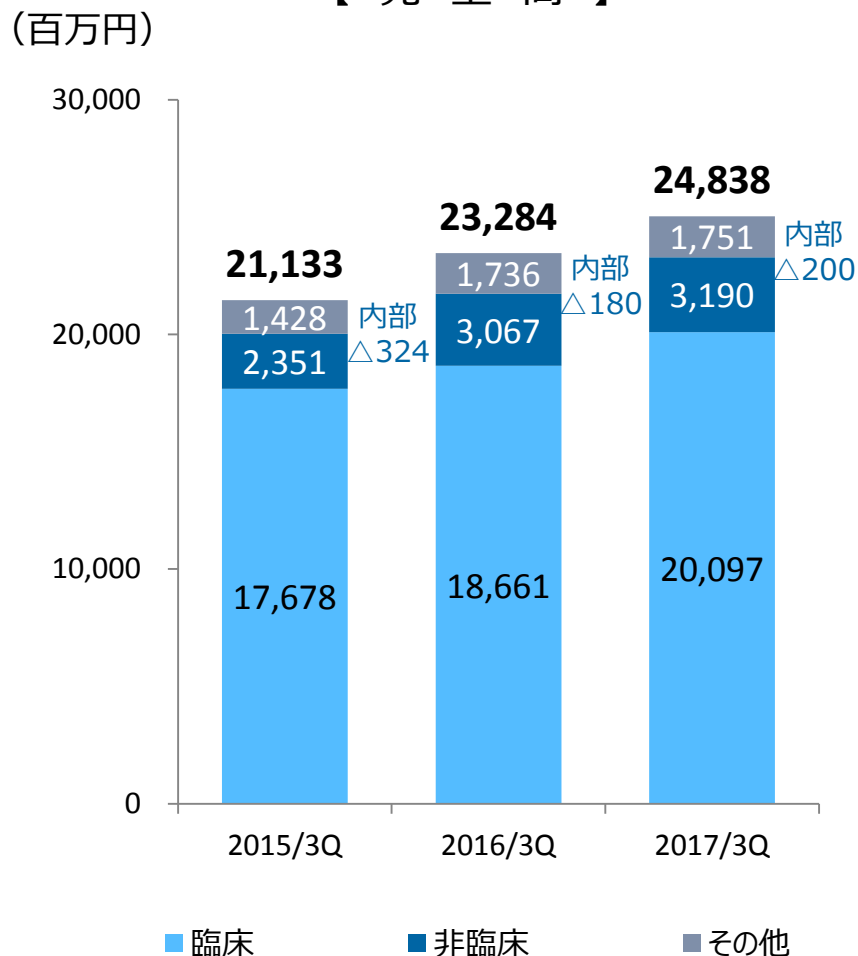


■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

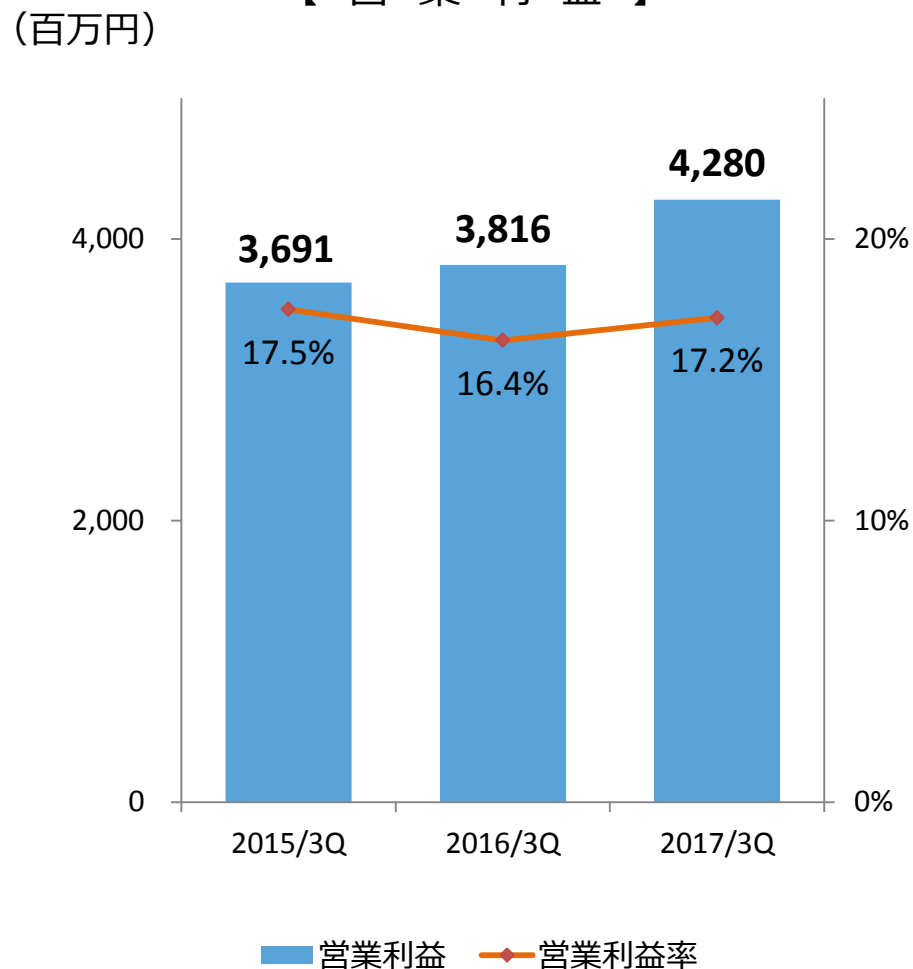
■ 営業利益 ◆ 営業利益率

医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高】



【営業利益】

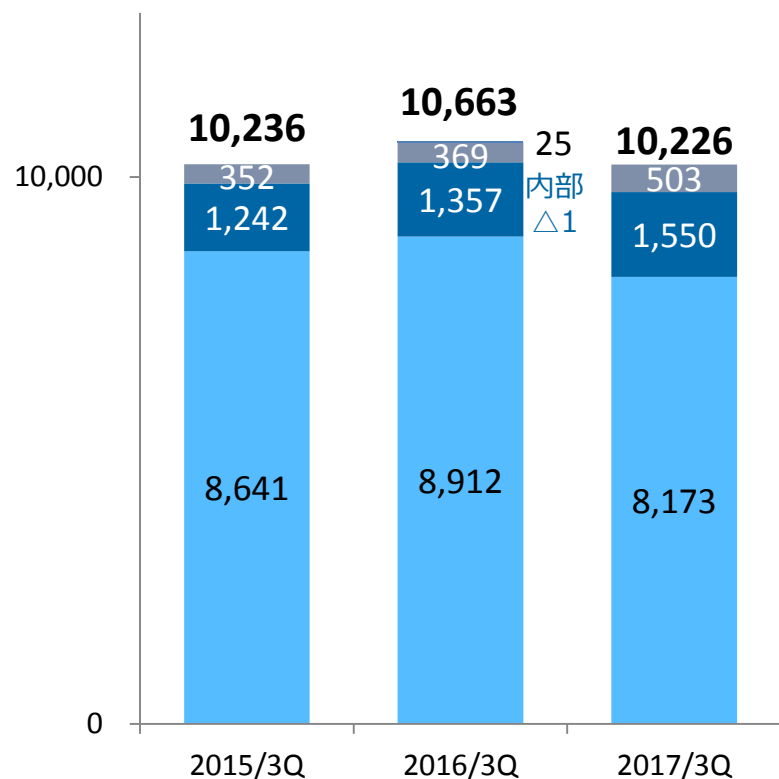


堅調な引合いに応じた人材の確保、更なる専門性と品質向上を目指した人材育成に取り組む。再生医療分野に関する支援体制を構築。非臨床業務において米国進出企業の支援など日米の連携を強化、また、中国蘇州にジェネリック医薬品承認取得支援を行う合併会社設立を合意。新規受注及び既存案件が堅調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る。

医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業

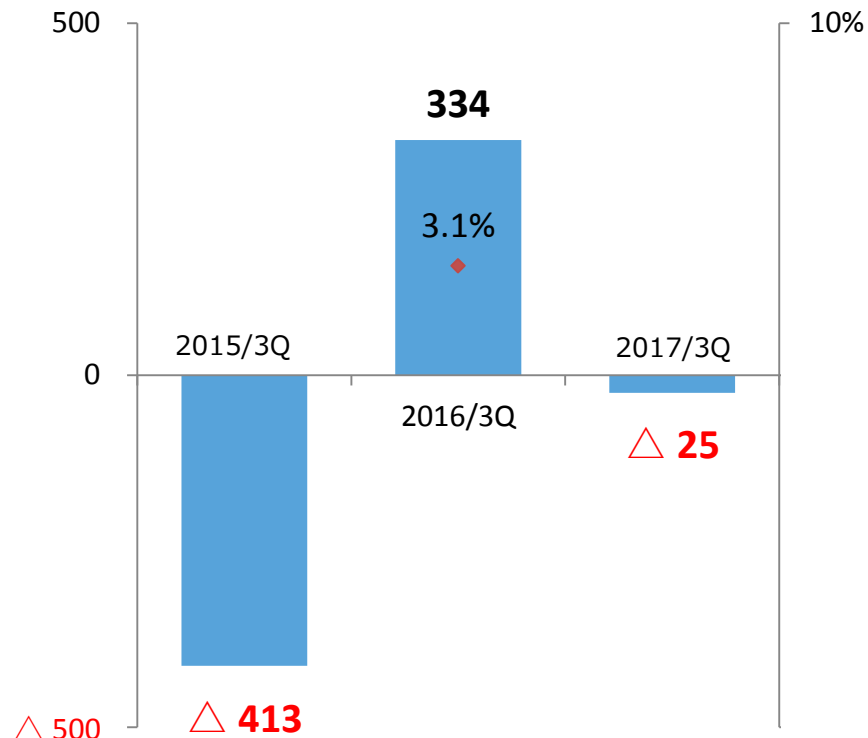
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)



■ CMO (日本) ■ CCU (米国) ■ CCK (韓国) ■ その他

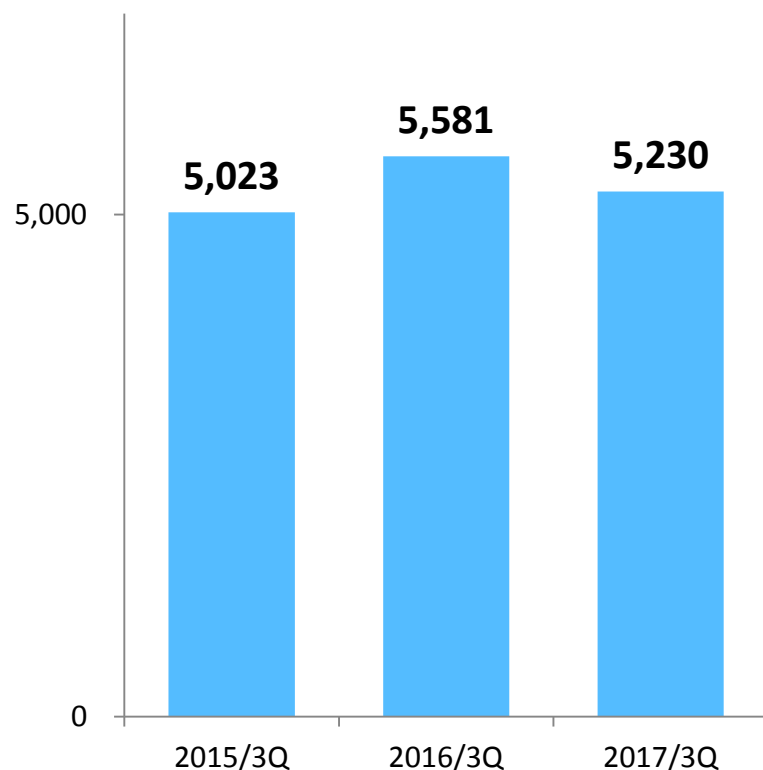
■ 営業利益 (損失) ◆ 営業利益率

価格競争力のあるコスト構造への転換によりジェネリック医薬品等の新規受託が増加、ローコスト生産体制の構築が進展。売上高及び営業利益は顧客の在庫調整の影響等により一時的に生産量が減少したことから、前年を下回り営業損失を計上。新規受注及び既存案件の受託生産が回復していることから通期では期初計画通りとなる見通し。

医薬品営業支援（CSO）事業

【売上高】

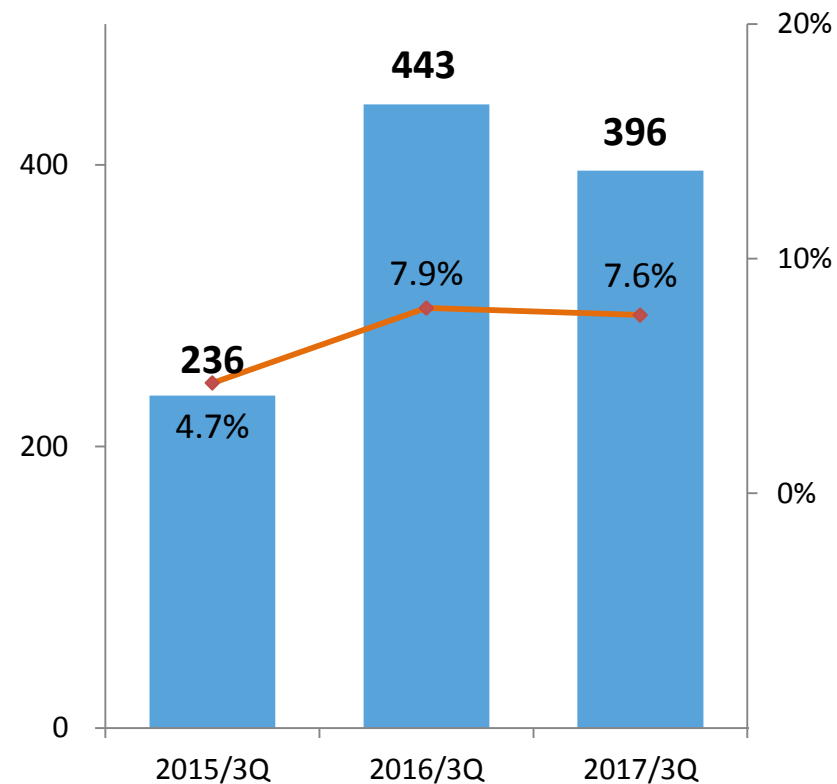
(百万円)



■ CMAS

【営業利益】

(百万円)



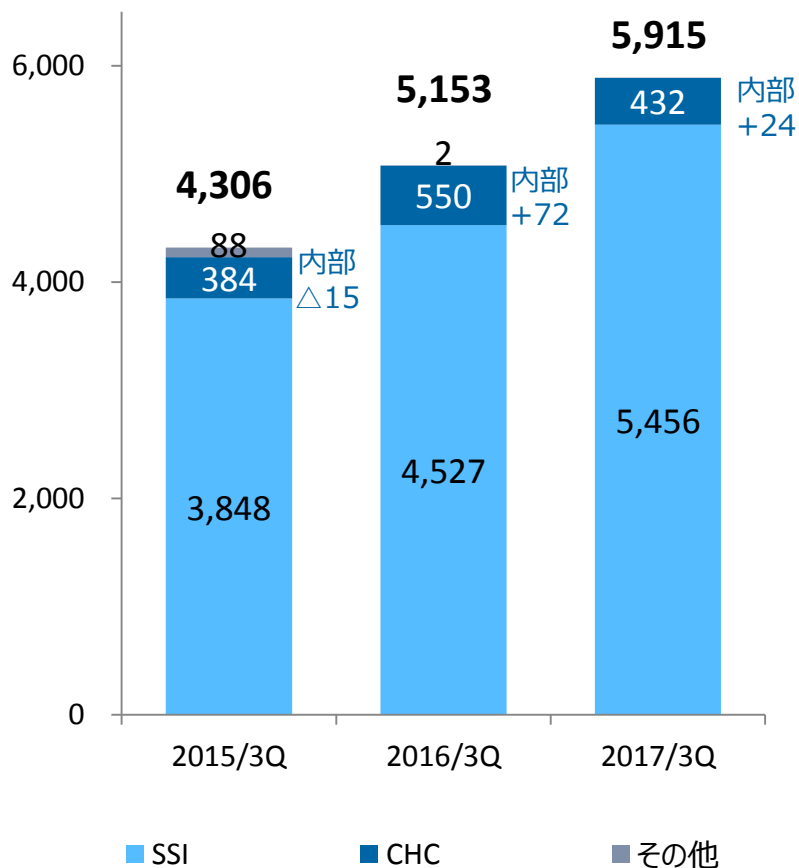
■ 営業利益 ◆ 営業利益率

シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組む。マルチチャネルのサービス提供を進めるなど、市場シェアの拡大を図る。MR派遣業務のアウトソーシングニーズが調整局面にあることから、売上高及び営業利益は前年を下回る。

ヘルスケア事業

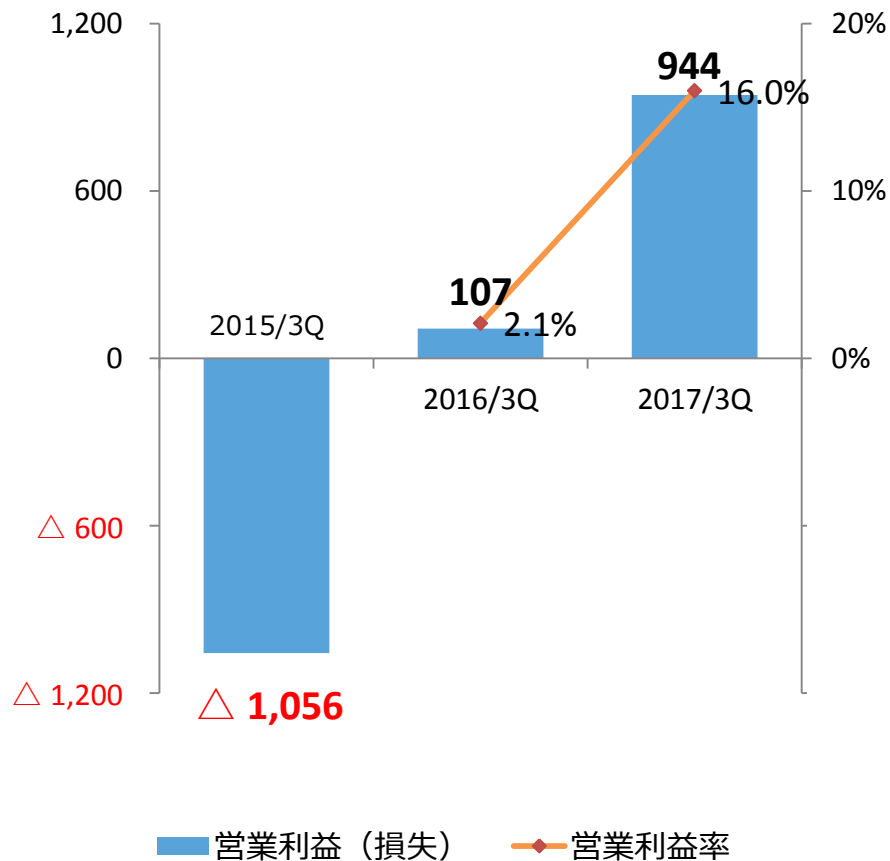
【 売上高 】

(百万円)



【 営業利益 】

(百万円)

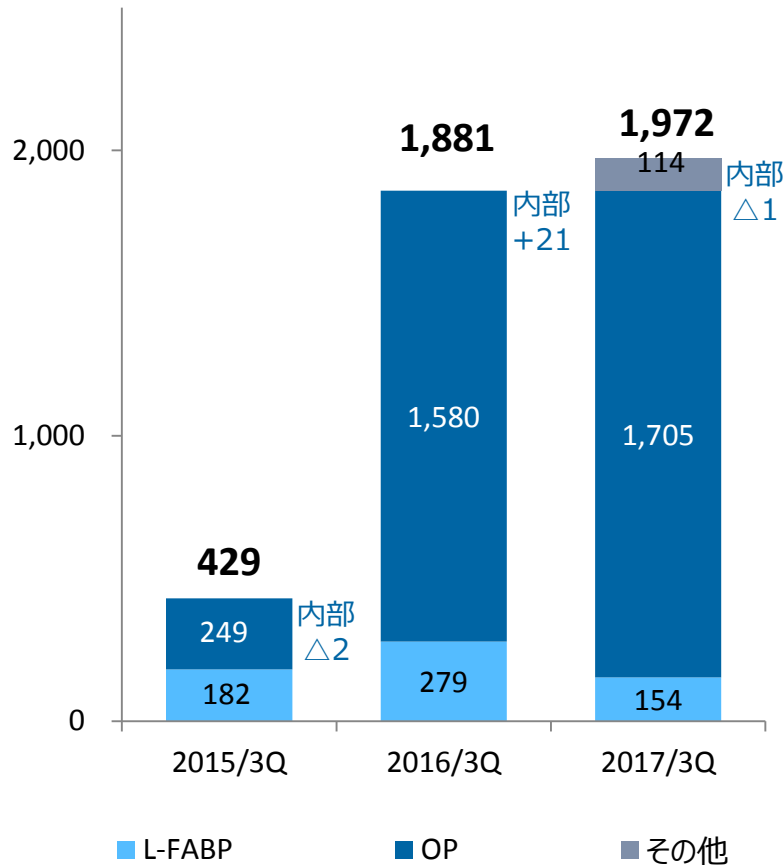


SMO業務における営業活動の一層の強化、医療機関ネットワーク拡大への取組みを通じた新規案件の獲得を推進。売上高は新規案件及び既存案件が堅調に進捗し前年を大幅に上回る。経営効率化策の継続実施により、営業利益も前年を大幅に上回る。

Innovative Pharma Model (IPM) 事業

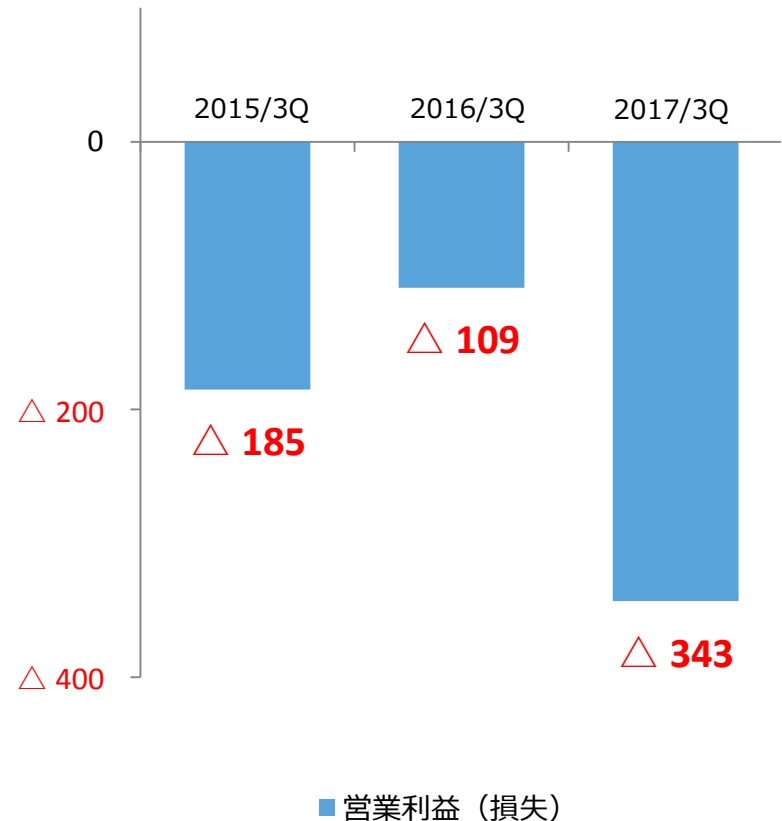
【 売上高 】

(百万円)



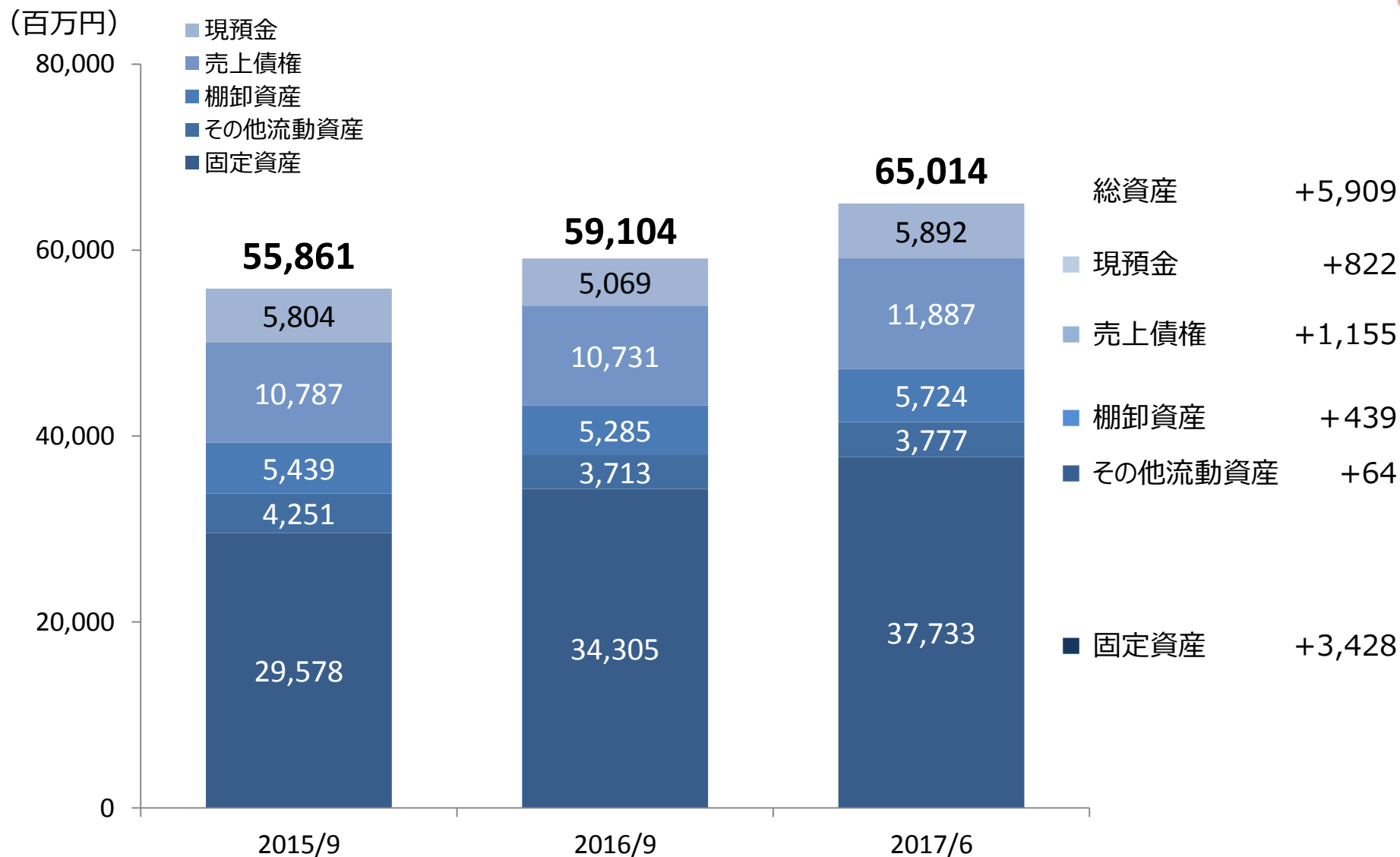
【 営業利益 】

(百万円)

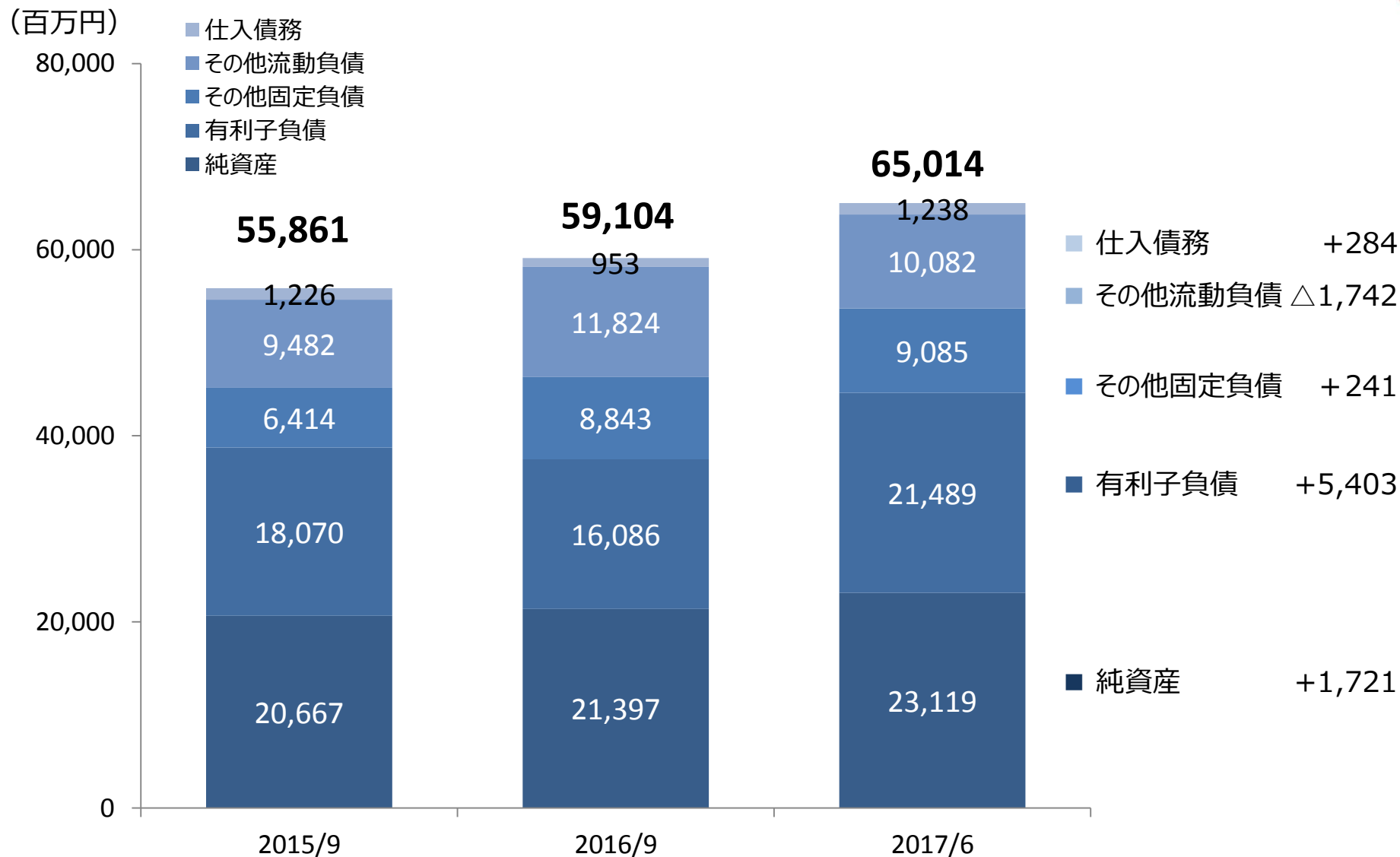


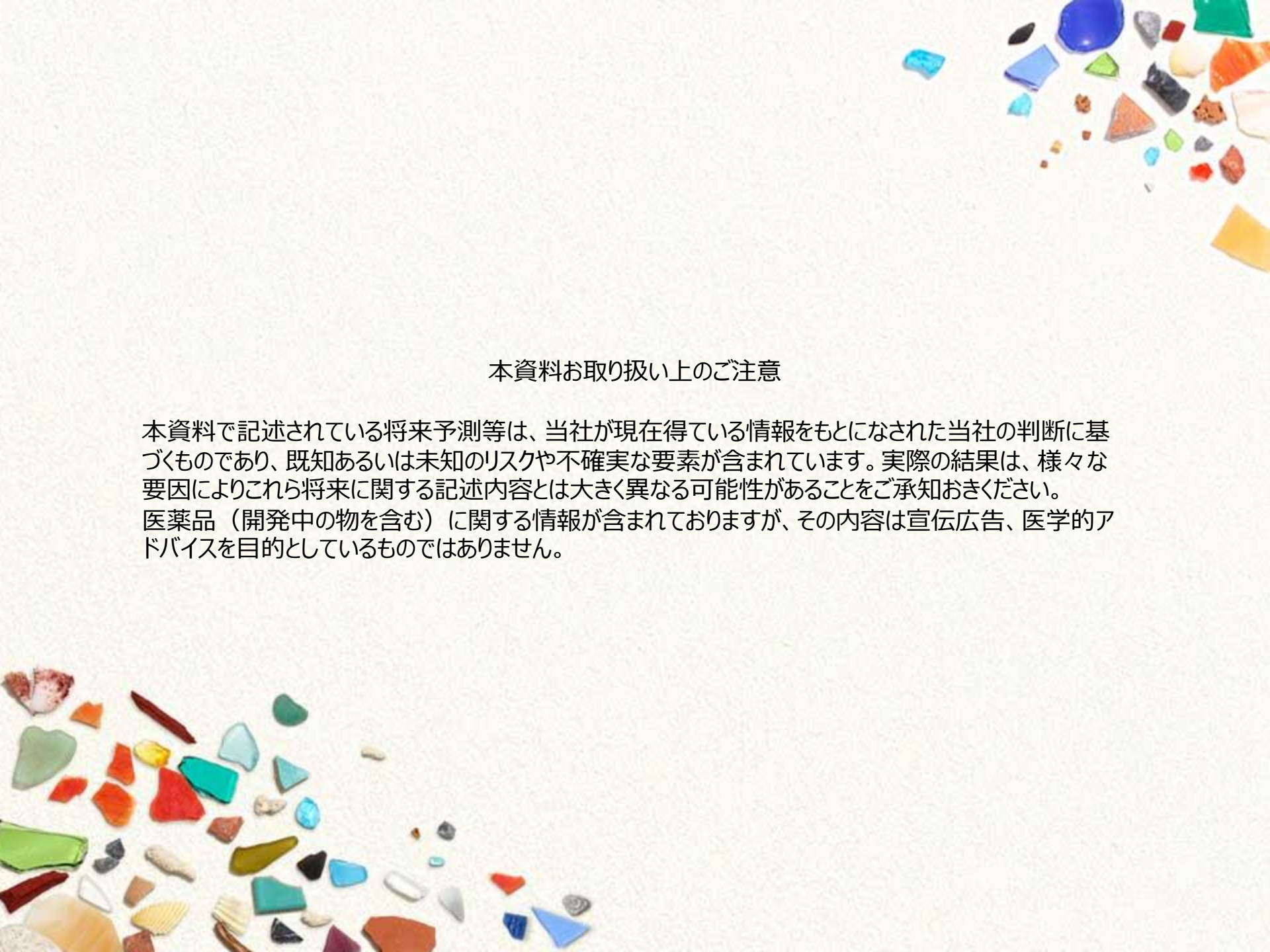
自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売および製薬会社から販売移管を受けた治療薬の販売を開始するなど、IPM事業の基盤強化に取り組む。診断薬事業において、体外診断薬の簡易検査 (Dip-test) キットの販売を開始。新たなソリューションモデルとして「ザンミーラネイル」の全国販売開始。売上高は前年同期を上回るが、広告宣伝費の増加等により営業利益は前年同期を下回る。新しいソリューション提供による事業規模拡大に向けて、活発に事業開発活動を行う。

連結貸借対照表 (資産の部)



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）





本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。